

# タップの各部名称と役割について

## 食付き部について



食付き部は、ねじ山を成形すると共にガイドの役目を持っています。下穴に食い付きやすくするために先端に向かって細く(テーパ)になっており、被加工材によって半径方向の逃げ角を決めています。

### ■各タップの食付き長さ一覧表

タップの種類		記号	食付き部の山数	タップの種類	記号	食付き部の山数	
ハンドタップ	先	HT	9山	管用平行ねじ用タップ	PF(G)	3.5山	
	中		5山				
	上		1.5山				
スパイラルポイントタップ		PO	5山	管用テーパねじ用タップ	平行ねじ用	PS(Rp)	3.5山
スパイラルタップ		SP	2.5山		テーパねじ用	PT(Rc)	2.5山
ナットタップ		NT	※0.75t		テーパ短ねじ用	S-PT	2.5山

※ねじ部の長さ“t”の約75%

## 溝部について



溝部は、ねじ加工をスムーズに行うための加工油剤を供給し、切りくずを溜め、食付き部とともにすくい角を形成し、1刃当たりの切削代を決める箇所になります。

### ■各溝形状一覧表

タップの種類	記号	適応下穴形状	機能
ストレート溝	HT	通り・止まり	もっとも一般的で分断した切りくずが溝に保持される
スパイラル溝	SP	止まり	溝に沿ってつながった切りくずが手前に排出される
逆スパイラル溝	SL	通り	切りくずが進行方向(先方)に排出される
ポイント溝	PO	通り	切りくずが進行方向(先方)に排出される

## 完全ねじ部について



完全ねじ部は、食付き部で成形されたためねじに入り込みねじガイドの役目を行います。

## シャンク部について



シャンク部は、チャックやホルダでタップを保持するときに掴む箇所になります。

## 四角部について



四角部は、タップをホルダに取り付ける際の空転や抜け落ち防止の回り止めになります。また、手作業でねじ加工する際にタップハンドルを保持するためにも使用します。